

【令和 4 年度】 長野市自転車活用推進計画に係る 事業計画（案）



令和 4 年 5 月

長野市 企画政策部交通政策課

地域・市民生活部地域活動支援課

建設部道路課




1 キャッチフレーズ

自転車さっそうで「ながの」を早爽と ～自然・健康・家計にやさしいまち～

- ・自転車で風を切って爽快に、「ながの」の自然を感じられる
- ・日常的に自転車を利用することで、健康増進・環境負荷の低減につながる
- ・自家用車から自転車に乗り換えることで、“おさいふ”＝家計にもやさしい

※「早爽（さっそう）」は、自転車で走る早さと、爽快感をイメージした造語。

2 目標像

-  通勤・通学や買い物などで自転車が日常的に利用されている。
-  移動距離が5km以内の場合は、自転車が最有力候補となっている。
-  自転車が安全に安心して利用できるまちとなっている。

3 計画期間 令和2年度から令和6年度まで

4 基本方針及び指標と目標値

基本方針	指標と目標値
基本方針1 自転車を活用した ライフスタイルの定着	● 自転車を日常的に（週2、3日程度以上）利用する人が市民の50%以上 現状値 「ほぼ毎日」及び「週2、3日程度」の合計が45.1% （令和元年度「自転車の利用に関するアンケート」による）
基本方針2 自転車通行空間等の整備	● 自転車ネットワーク路線における優先整備路線（計37.9km）の整備率が100%（整備計画延長24.6km） 現状値 整備率35.1%（整備済み延長13.3km）
基本方針3 安全に向けた啓発と 賠償責任保険加入の促進	● 自転車に関する事故件数が15%減 現状値 235件/年（令和元年）
基本方針4 自転車を活用した観光振興	● 自転車の総合的な使いやすさを「満足」と感じる人が市民の30%以上 現状値 「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が9.4% （令和元年度「自転車の利用に関するアンケート」による）

5 実施スケジュール

基本方針	施策・事業	実施スケジュール				
		R2	R3	R4	R5	R6
1	自転車を活用したライフスタイルの定着					
	施策1 健康増進・環境負荷低減につながる自転車の価値をPR					
	1 自転車の利用促進につながる広報啓発	■	■	■	■	■
	2 健康増進・環境負荷低減につながる広報啓発	■	■	■	■	■
	3 自転車の利用促進につながるマップの作成				■	■
	施策2 自転車通勤等の促進					
	1 自転車通勤拡大のための広報啓発		■	■	■	■
	2 エコ通勤運動の推進			■	■	■
	3 公共交通と組み合わせた通勤・通学の推進	■	■	■	■	■
2	自転車通行空間等の整備					
	施策3 通勤・通学路の重点的な整備					
	1 自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の計画的な整備	■	■	■	■	■
	2 道路標識・道路標示の適切な設置・運用		■	■	■	■
	3 通行空間の利用方法、マナーの周知	■	■	■	■	■
	施策4 目的やニーズに応じた駐輪場の整備					
	1 バス停周辺に駐輪スペースを設置		■	■	■	■
	2 市営自転車駐車場の適正な管理・運営	■	■	■	■	■
	3 鉄道駅周辺駐輪場へのサイクルスタンド等の設置	■	■	■	■	■
3	安全に向けた啓発と賠償責任保険加入の促進					
	施策5 段階的な交通安全教育の推進					
	1 世代に応じた交通安全教育の充実	■	■	■	■	■
	2 自転車交通安全に関する人材の育成	■	■	■	■	■
	施策6 自転車の交通安全に関する広報啓発活動の推進					
	1 安全な自転車利用につながる広報活動	■	■	■	■	■
	2 交通安全運動を活用した街頭啓発活動の実施	■	■	■	■	■
	施策7 点検整備・自転車保険の加入促進など安全通行の確保					
	1 自転車保険の加入促進	■	■	■	■	■
	2 自転車の点検・整備の促進	■	■	■	■	■
	施策8 災害時における自転車の活用推進					
	1 災害時における自転車活用に関する検討	■	■	■	■	■
4	自転車を活用した観光振興					
	施策9 自転車走行環境・サイクリスト受け入れ環境の整備					
	1 交通結節点等におけるサイクリストの受け入れサービスの充実		■	■	■	■
	2 利用拠点における利便施設の整備		■	■	■	■
	施策10 サイクリングコースの提案等による、サイクルツーリズムの推進					
	1 千曲川サイクリングロードの環境整備	■	■	■	■	■
	2 新たなサイクリングコースの設定と広報周知	■	■	■	■	■

■: 実施

6 令和4年度の主な取組

■ : 令和4年度に取り組む事業

基本方針	施策		事業	
基本方針1 自転車を活用した ライフスタイルの定着	1	健康増進・環境負荷低減につながる自転車の価値をPR	1	自転車の利用促進につながる広報啓発
			2	健康増進・環境負荷低減につながる広報啓発
			3	自転車の利用促進につながるマップの作成
	2	自転車通勤等の促進	1	自転車通勤拡大のための広報啓発
			2	エコ通勤運動の推進
			3	公共交通と組み合わせた通勤・通学の推進
基本方針2 自転車通行空間等 の整備	3	通勤・通学路の重点的な整備	1	自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の計画的な整備
			2	道路標識・道路標示の適切な設置・運用
			3	通行空間の利用方法、マナーの周知
	4	目的やニーズに応じた駐輪場の整備	1	バス停周辺に駐輪スペースを設置
			2	市営自転車駐車場の適正な管理・運営
			3	鉄道駅周辺駐輪場へのサイクルスタンド等の設置

基本方針	施策		事業	
基本方針 3 安全に向けた啓発と賠償責任保険加入の促進	5	段階的な交通安全教育の推進	1	世代に応じた交通安全教育の充実
			2	自転車交通安全に関する人材の育成
	6	自転車の交通安全に関する広報啓発活動の推進	1	安全な自転車利用につながる広報活動
			2	交通安全運動を活用した街頭啓発活動の実施
	7	点検整備・自転車保険の加入促進など安全通行の確保	1	自転車保険の加入促進
			2	自転車の点検・整備の促進
	8	災害時における自転車の活用推進	1	災害時における自転車活用に関する検討
	基本方針 4 自転車を活用した観光振興	9	自転車走行環境・サイクリスト受け入れ環境の整備	1
2				利用拠点における利便施設の整備
10		サイクリングコースの提案等による、サイクルツーリズムの推進	1	千曲川サイクリングロードの環境整備
			2	新たなサイクリングコースの設定と広報周知

7 令和4年度に取り組む事業

基本方針1 自転車を活用したライフスタイルの定着

該当するSDGsの目標(ゴール):



【指標と目標値】

指標と目標値	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車を日常的に(週2、3日程度以上)利用する人が市民の50%以上 現状値 「ほぼ毎日」及び「週2、3日程度」の合計が45.1% (令和元年度「自転車の利用に関するアンケート」による)
--------	---

【施策及び事業】

施 策	1 健康増進・環境負荷低減につながる自転車の価値をPR
事 業	1 自転車の利用促進につながる広報啓発 2 健康増進・環境負荷低減につながる広報啓発
令和4年度事業内容【計画】	
1 自転車の利用促進につながる広報啓発 (1) 自転車のルール・マナーや駐輪場等の適正利用に関する記事を広報ながの4月号へ掲載 (2) 自転車の利用促進につながるチラシ等を活用した広報啓発 (3) 市内高校等へ自転車の適正利用及び整理区域ガイドMAPを配布(4月)	
2 健康増進・環境負荷低減につながる広報啓発 (1) 職場向け健康通信による健康増進と自転車を活用した身体活動・運動について啓発	

施 策	2 自転車通勤等の促進
事 業	1 自転車通勤拡大のための広報啓発 2 エコ通勤運動の推進 3 公共交通と組み合わせた通勤・通学の推進
令和4年度事業内容【計画】	
1 自転車通勤拡大のための広報啓発 (1) 広報ながの、ホームページ等を活用した、自転車通勤拡大のための広報啓発	
2 エコ通勤運動の推進 (1) 交通事業者と連携を図りながら広報を実施し、自転車の利用及びエコ通勤を促進する。	

3 公共交通と組み合わせた通勤・通学の推進

- (1) 鉄道駅周辺自転車駐車場の整備を実施
 - ・北長野駅南口自転車駐車場屋根修繕及び照明LED化工事
 - ・長野駅東口自転車駐車場区画線工事
- (2) 主要なバス停周辺における駐輪場整備に向けた検討

基本方針2 自転車通行空間等の整備

該当する SDGs の目標（ゴール）：



【指標と目標値】

指標と目標値	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車ネットワーク路線における優先整備路線（計 37.9km）の整備率が 100%（整備計画延長 24.6km） 現状値 整備率 35.1%（整備済み延長 13.3km）
--------	--

【施策及び事業】

施策	3 通勤・通学路の重点的な整備
事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の計画的な整備 2 道路標識・道路標示の適切な設置・運用
令和4年度事業内容【計画】 <ol style="list-style-type: none"> 1 自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の計画的な整備 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自転車通行空間設計 <ul style="list-style-type: none"> 矢羽根型路面標示設置（新幹線側道 L=1.1km、三輪幹線 L=0.5km） (2) 千曲川新道 自転車道・遊歩道の整備 <ul style="list-style-type: none"> 松代地区（城北工区 L=0.1 km、柴工区 L=0.2 km） 2 道路標識・道路標示の適切な設置・運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) 注意喚起看板設置（自転車通行可歩道） 	

施策	4 目的やニーズに応じた駐輪場の整備
事業	1 バス停周辺に駐輪スペースを設置 2 市営自転車駐車場の適正な管理・運営 3 鉄道駅周辺駐輪場へのサイクルスタンド等の設置
令和4年度事業内容【計画】 1 バス停周辺に駐輪スペースを設置 (1) 主要なバス停周辺における駐輪場整備に向けた検討〈施策2-3(再掲)〉 2 市営自転車駐車場の適正な管理・運営 (1) 市営自転車駐車場の安全性の確保と利便性の向上のため、適正な維持・管理 3 鉄道駅周辺駐輪場へのサイクルスタンド等の設置 (1) 鉄道駅における駐輪場の充実(サイクルスタンド設置)	

基本方針3 安全に向けた啓発と賠償責任保険加入の促進

該当するSDGsの目標(ゴール):



【指標と目標値】

指標と目標値	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車に関する事故件数が15%減 現状値 計画策定時: 235件/年(令和元年)
--------	--

【施策及び事業】

施策	5 段階的な交通安全教育の推進
事業	1 世代に応じた交通安全教育の充実 2 自転車交通安全に対する人材の育成
令和4年度事業内容【計画】 1 世代に応じた交通安全教室の充実 (1) 幼児から高齢者まで幅広い世代に応じた交通安全教育の実施 (2) 育成会等で自転車に特化した交通安全教室の実施 (3) 体験型交通安全教室の実施 2 自転車交通安全に対する人材の育成 (1) 自転車安全運転指導者研修会等への参加促進	

施 策	6 自転車の交通安全に関する広報啓発活動の推進
事 業	1 安全な自転車利用につながる広報活動 2 交通安全運動を活用した街頭啓発活動の実施
令和4年度事業内容【計画】	
1 安全な自転車利用につながる広報活動 (1) 市政番組や市政機関紙への記事掲載	
2 交通安全運動を活用した街頭啓発活動の実施 (1) 関係機関・団体と連携した街頭啓発活動の随時実施 (2) 季別の安全運動での思いやり運転に関する広報の実施	

施 策	7 自転車保険の加入促進・点検整備など安全通行の確保
事 業	1 自転車保険の加入促進 2 自転車の点検・整備の促進
令和4年度事業内容【計画】	
1 自転車保険の加入促進 (1) あらゆる機会を通じた自転車損害賠償責任保険等の加入促進啓発	
2 自転車の点検・整備の促進 (1) 交通安全教室における自転車の点検・整備の啓発	

施 策	8 災害時における自転車の活用推進
事 業	1 災害時における自転車活用に関する検討
令和4年度事業内容【計画】	
1 災害時における自転車活用の検討 (1) 令和4年度に予定される長野市地域防災計画・長野市水防計画の見直しにおいて、災害 応急対策として緊急輸送における自転車の活用について検討	

基本方針4 自転車を活用した観光振興



該当する SDGs の目標（ゴール）：

【指標と目標値】

指標と目標値	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車の総合的な使いやすさを「満足」と感じる人が市民の 30%以上 現状値「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が 9.4% （令和元年度「自転車の利用に関するアンケート」による）
--------	--

【施策及び事業】

施 策	9 自転車走行空間・サイクリスト受け入れ環境整備
事 業	1 交通結節点等におけるサイクリストの受け入れサービスの充実 2 利用拠点における利便施設の整備
令和4年度事業内容【計画】	
1 交通結節点等におけるサイクリストの受け入れサービスの充実 (1) 長野駅における輸行作業推奨スペース明瞭化のための案内表示板等の設置に伴う関係各所との調整	
2 利用拠点における利便施設の整備 (1) レンタサイクル事業を実施している飯綱高原観光協会（オトナリハウス）に隣接して、レストランや、直売所、トイレを完備した「森の駅 Daizahoushi」を整備する。	

施 策	10 サイクリングコースの提案等による、サイクルツーリズムの推進
事 業	2 新たなサイクリングコースの設定と広報周知
令和4年度事業内容【計画】	
2 新たなサイクリングコースの設定と広報周知	
(1) 信越高原サイクリングモデルコースの活用と誘客の促進 既存のモデルコース及び新たなサイクリングコースを利用し、ホームページやSNSを活用した広報を行うとともに、海外からの観光客に対し当該モデルコースの認知度の向上と魅力の発信、ツアー等の販売体制の整備を行う。	
(2) サイクリングコンテンツの拡充 長野市公式観光サイト等に掲載するモデルコース実走レポートや動画等を制作し、ターゲットに対してより具体的な提案を行う。	
(3) サイクリングイベント実施の検討 長野市を中心とした広域でのサイクリングイベントについて、調査検討、実施する。	

(4) 市内観光関連団体との意見交換及び連携強化

各観光協会を導入するE-bike（スポーツバイクタイプの電動アシスト自転車）等のレンタサイクルの状況を的確に把握し、観光関連団体との意見交換の場を設け、イベントのPR等、支援を行う。

(5) 長野県が主導するサイクルツーリズム推進団体等との連携

県が主導するサイクルツーリズム推進団体「Japan Alps Cycling Project」への参画及び「長野・北信サイクルツーリズム推進会議」が主催する意見交換会等を通じ、情報交換や事業推進に努める。